

チェーンポットを利用したオタネニンジンの省力育苗体系

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

特用作物－薬用ニンジン－栽培型、作業技術

2 担当者

星 佳織 ・ 大竹真紀 ・ 野田正浩

3 要旨

チェーンポットを用いたオタネニンジンの育苗(以下チェーンポット育苗)は、慣行の直播(点播)による育苗よりも、作業時間が短縮され、生育が良好な苗が得られた。

(1) チェーンポット育苗では、作業時間が慣行の直播による育苗よりも約三分の一に短縮された(表1)。

(2) チェーンポット育苗では、1年生苗の根長、一本あたりの根重が直播育苗よりも良好だった(図1、表2)。

(3) チェーンポット育苗では、浅植えでポットが露出すると、乾燥により株が消失する恐れがあるため、植付後にポットが露出している場合は覆土を行う。

浅植えを避けるためには、春の雪解け後に畝立てを行い、土をやわらかくしたところに移植することが望ましい。

表1 チェーンポットと慣行直播の延べ作業時間の比較

	播種(h/a)	移植(h/a)	計(h/a)
チェーンポット	5	1	6
慣行直播(点播)	23	—	23

注1)どちらの区も株間5cm

注2)チェーンポット:規格CP305 ポット1本直径3cm×高さ5cm
1冊264本 専用の播種器を用いて播種

注3)使用培土:タキイ セル培土TM-1

注4)野菜用定植機ひっぱりくん(2条植)で育苗ほに移植

注5)作業人員 播種:1人、移植:2人



チェーンポット 直播

図1 一年生苗の状況

表2 チェーンポットと慣行直播の根部収量と生育の比較(H30.11.21 調査)

処理区	栽植本数 (本/a)	収穫本数 (本/a)	収穫重量 (生重 kg/a)	全根長 (mm)	主根長 (mm)	新鮮重 (g/本)
チェーンポット	5160	1354	1.2	143	45	1.0
慣行直播(点播)	5160	1741	1.1	81	26	0.7

注1)チェーンポットはH29年12月6日にポットへ播種、屋外に放置、融雪後のH30年4月6日に移植

注2)慣行直播区は積雪前のH29年11月17日に播種

月旬	10月			11月			12月			...	4月			...	11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下		上	中	下		上	中	下
チェーンポット																	
慣行直播																	

◆:畝立て ○:播種 ×:表土掻き △:移植 □:日よけ設置 ■:掘り取り

図2 育苗体系

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成28年度～30年度

(2) 研究課題名 ふくしま「医食同源の郷」を目指した「オタネニンジン」「エゴマ」の省力・低コスト安定生産技術の確立

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

なし